

安全性高めたウッドデッキ ケーワンシステム

「文教PLAYタイプ」発売

乾式二重床施工のケーワンシステム(札幌市、原田慶一社長)は、運動に適した床の弾力性によって転倒衝撃時の安全性を高めた屋外用ウッドデッキシステムの新商品、K・1デッキ「文教PLAYタイプ」を6月1日に全国発売する。K・1デッキは同社が施工・販売する床材のブランド名。

新商品はウッドデッキを支える下地に新開発のシステムを採用。弾力性を持たせることで歩行時の安全性を高めた。ウッドデッキ本体は硬さが同等の人工木であれ

ほどのメーカーの製品も組み合わせ可能。

同社は「体育館のように安全なウッドデッキ」をキヤッチフレースに、デッキ材メーカーとタイアップし、戸建住宅の庭や集合住宅の屋上のほか、幼稚園、保育園、老健施設、病院などを対象に新商品の販売拡大を図る。

ている。同システムは、パイポルト仕様の支持脚の頭部から接着剤を注入し、ポルトの回転を止めると同時に支持脚をスラブに固定する特許技術。

屋外体育館のJIS(日本工業規格)基準に準拠した硬さ、弾力性、鉛直載荷たわみ、繰返し衝撃の各試験を万協フロアーの製造元、泰成電機工業(長野県駒ヶ根市)で行い、いずれもJIS基準をクリアした。

ウッドデッキは下地で選ぶ時代になった」と新商品の売れ行きに期待している。

同社は5月23日、万協

下地の1㎡当たりの材と共同で実用新案を出願工価格(税別)は高さIした。



下地に新開発のシステムを採用した